

STELLAR の導入で各検査部門の画像やデータを統合的に管理することが可能になり、目指していた完全フィルムレス化やペーパーレス化を実現



鈴木院長

**導入経緯**

画像やデータの一元管理ができるシステムを探し求めて「STELLAR」を導入

システム導入前には、検査画像や検査データの閲覧にフィルムや紙を使用していました。また、部門ごとに設置した各サーバに保存するなど様々な媒体によるものでした。

平成 25 年 12 月の病院新築を期に完全フィルムレス化する方針で、画像やデータの一元管理を行えるシステムを探していました。また、検査のワークフローの標準化を行い、効率化、省力化を実現するため放射線情報システム (RIS) の導入も検討していました。放射線部門だけでなく、生理検査部門、内視鏡部門などでも導入可能なシステムが必須条件でした。

日常診療に影響を与えないような形態でフィルムレス化へ移行する必要があり、これまで資料袋に経時的に収納していた検査画像やデータが、モニター上にも施行日順に時系列で検査種別ごとに表示されていることが重要でした。STELLAR では各検査部門の画像やデータが統合的に管理されており簡便に閲覧ができました。今後の広範囲な医療情報をカバーするための拡張性も備わっており将来性を感じるシステムでした。導入される部門には古い機器が残っており、接続に関して不安もありましたが、週一回程度ワーキンググループ会議を開催し問題点を解決しました。

また、STELLAR は電子カルテがシステムダウンした際に、電子カルテのサブシステムのような形で使用することもできます。患者さんにとっても、より安心して診療と治療を受けていただくために役立つシステムと考え導入を決めました。

**導入システム**

- DICOM 画像管理システム Nazca
- RIS システム NazcaRIS
- 診療情報統合システム STELLAR
- ドキュメント作成&管理システム STELLARReport
- 画像キャプチャシステム ARKGate

**導入効果**

直観的な医療情報の把握を可能にし、スタッフにも患者さんにも優しいシステム

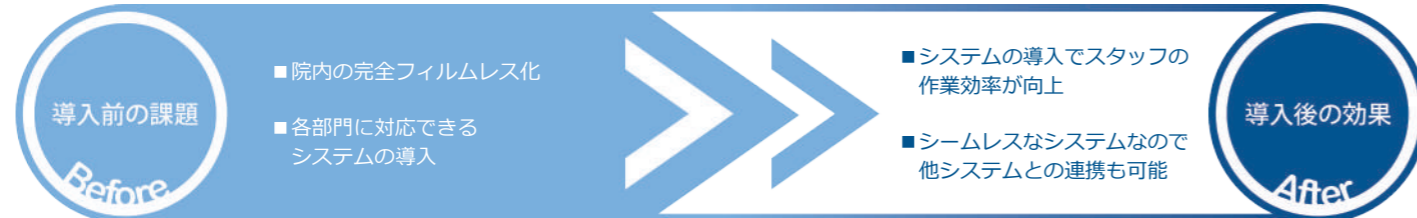
ワークフローに関しては、標準化されているものを当院に合うようにアレンジして決定しました。放射線部門ではフィルムレス化はもちろん、ペーパーレス化を前提にワークフローを考え、それが可能なシステム構成になっています。RIS を導入し無駄なペーパーを排除したことにより、スタッフが効率よく作業できるようになり、患者さんの待ち時間が大幅に短縮されました。操作も簡便で、情報共有のツールとしてもなくてはならないものになっています。

STELLAR は、画像やデータが時系列の中にサムネイルで並んでおり、直感的に医療情報を把握できます。視覚的な効果が素晴らしく、診療の現場の評判も非常に高く満足しています。操作を簡単に覚えることができ、作業時間が大幅に短縮され業務の効率化に繋がりました。人為的ミスなども減り、患者さんには画像と診断の内容を迅速に分かりやすく説明することができます。また非常にシームレスなシステムなので他システムとの連携もスムーズです。

マルチレポートシステムでは、読影医と同じシステムを院内ライセンスフリーで使用できます。読影医のレポートのみならず、臨床医または技師が使用するレポートもカスタマイズが可能で柔軟なレイアウトが可能です。また検索機能にも優れており臨床現場はもちろんのこと学術発表、研修、カンファレンスなどに大活躍しています。



NazcaRIS 使用風景



中通総合病院：システム導入時期 / Dec 2013



中通総合病院は昭和 30 年 4 月に中通診療所として開設されました。開設以来「どこでも、だれでも」、「患者さんの立場に立つ親切で信頼される良い医療を行い地域に貢献していく」という理念を掲げて医療を行ってきました。地域住民の要望と先駆的な医療の提供に努め、昭和 56 年には増改築により 539 床に、平成 21 年に社会医療法人の認可を受けました。平成 25 年 11 月に病床数 450 床の新病院が完成し、12 月から新病院で診療を行っています。新病院では、急性期医療を中心に慢性期医療も担っていますが、これまでも増して力を入れて行く分野は次の 3 分野です。

1. 救急医療、悪性腫瘍、脳卒中や急性心筋梗塞など血管系疾患の診断と治療
2. 高齢者医療を中心とした総合的医療
3. 健診事業や人間ドッグに力を入れ、病気の早期発見と予防、事後指導

中通総合病院の新築により、療養環境はもちろんのこと、患者さんへのサービス、病院の機能、さらに、職場環境なども改善し患者さんが安心して医療を受けられ、職員が生きがいを持って働くことを目指しています。

所在地：秋田県秋田市南通みその町 3-15

病床数：450 床

診療科：内科・消化器内科・循環器内科・神経内科・糖尿病内科・腎臓内科・神経精神科  
呼吸器内科・消化器外科・整形外科・脳神経外科・心臓血管外科・呼吸器外科  
泌尿器科・皮膚科・乳腺内分泌外科・耳鼻咽喉科・眼科・放射線科・小児科  
産科 / 婦人科・病理科・麻酔科



鈴木院長とスタッフの皆さん

**Policy 今後の方針**

他の医療機関との連携、法人および関連施設との連携を強化し、地域完結型医療を目指します。そのために医療情報分野でもネットワークを構築し、画像やデータの一元管理を行い、速やかな連携を目指します。健診事業や人間ドッグの情報を取込み、総合的に医療情報を活用し病気の早期発見と予防、事後指導にも取り組んでまいります。

**期待 今後の期待・要望**

カスタマイズの自由度が非常に高いシステムと感じています。そのため、グランドデザインがしっかりしていないと導入時に煩雑になってしまう可能性があります。標準的な仕様が、そこからカスタマイズできれば素晴らしいと思います。

**システム構成図**

